

2025年（令和7年）度

NPO法人大田区介護支援専門員連絡会 定期総会

2025年5月23日（金）18：30～
大田区立消費者生活センター 2階 大集会室

議案

1. 開会
2. 理事長挨拶
3. 来賓ご挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - 1) 2024年度活動報告（案）
 - 2) 2024年度決算報告（案）
 - 3) 監査報告
 - 2025年度理事・運営委員紹介
 - 4) 2025年度事業計画（案）
 - 5) 2025年度予算（案）
6. 事務局よりお知らせ
7. 閉会

閉会后 同会場にて名刺交換及び懇親の時間を30分程度予定しています。

＊総会当日はこの議案書・資料を持参くださいます
ようお願いいたします。

1) 2024 年度活動報告

はじめに

新緑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、介護支援専門員としての職務にご尽力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

本年度の総会は、引き続き介護保険制度の改正や地域包括ケアの推進が求められるなかでの開催となります。私たち介護支援専門員の役割もますます重要となっており、専門職としての質の向上と連携強化が求められております。

昨今、コロナ禍を経て介護現場のあり方も変化し、対面・オンラインを併用したケアマネジメントや、DX（デジタルトランスフォーメーション）の活用が進んでおります。当連絡会としても、皆様がよりよい支援を提供できるよう、研修の充実や情報共有の強化に努めてまいります。

また、主任介護支援専門員研修受講申請のための当連絡会証明書発行の整理を行いました。さらに、ケアプラン点検のファシリテーターやケアプラン点検協力者への証明書の発行、当連絡会の運営委員として活動した運営委員への証明書発行も行いました。今後も、会員の皆様の活動を支援し、より良い環境を整えてまいります。

当連絡会が、会員の皆様にとって有意義な場となり、今後の業務に活かせるものとなることを願っております。皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

活動の報告

1 NPO 法人全体の運営について

- 総会の開催 2024 年 5 月 21 日(火)大田区立消費者生活センター大集会室にて集合型で行いました。
- 予算規模は大きくなっていますが、会計士と事務局非常勤職員の体制整備により理事・運営委員も予算執行等意識を持って当たるできるようになりました
- 毎月月初に事務局会議、中旬に運営委員会、偶数月に理事会を開催
- 連絡会主催研修（部会報告参照）
- 大田区より委託事業（部会報告参照）は WEB 開催を継続しています。技術的にも、機材的にも毎回苦労がありますが、事務局非常勤職員の働きにより、研修を提供することが出来ています。研修内容をわたしたちが検討することにより、参加人数が増えています。
- 大田区との連携
 - ・ 大田区福祉部介護保険課との懇談会 7 月 26 日（金）実施
 - * 返答書面について HP の会員ページにアップしましたのでご確認ください。回答についてこちらの思いとは不足の部分が多く、関係部署とのやり取りを続けています。
 - ・ 介護認定審査会委員 委員を派遣

- ・ 大田区地域福祉計画推進会議 委員派遣
- ・ 大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議 委員派遣
- ・ 大田区難病対策地域協議会 委員派遣
- ・ 大田区地域密着型サービス運営協議会 委員派遣
- ・ 大田区おおた介護予防応援事業検討会 委員派遣
- ・ 大田区在宅医療連携推進協議会 委員派遣
- ・ 大田区介護保険サービス団体連絡会会長会に参加
- ・ 大田区避難行動要支援者連絡会議に参加
- ・ 大田区介護サービス功労者表彰（2023 年度から会長会推薦方式となりました）
- ・ おおた福祉フェス 2024 企画会議に参加し、運営に協力しました。会員から実行委員を募集し実行委員会に参画、地域活動部会の活動としても取り組んでいます。（部会報告参照）
- ・ 区内外各種団体との連携
 - ・ 区南部地域リハビリテーション支援事業委員派遣
 - ・ 自由民主党大田区民連合 予算要望懇談会参加
 - ・ 日本共産党大田区議団 予算要望懇談会参加
 - ・ ふれあいはすぬま自営消防訓練参加
 - ・ 立憲民主党大田区議団 予算要望懇談会参加
 - ・ 社会福祉法人大田区社会福祉協議会との連携
大田区社会福祉協議会評議員専任・解任委員会 委員派遣

2 各部会からの報告

○ 研修部会報告 報告・土井

令和 6 年度は、これまで年間 5 回開催してきた大田区研修について、介護保険課との協議の結果、年間 4 回の開催となりました。介護保険制度改正の年度にて、改正に係る研修と、重層的支援体制整備事業が本格的になっている大田区の現状を踏まえ、事例を通じた研修等を行いました。大田区で働く介護支援専門員が抱える課題を意識し、更なる質の向上を目的として努めました。

連絡会研修においては、大田区研修の開催が少なくなったことから、計 5 回の研修を行うことが出来ました。参集型で行い、主にグループワークを行う研修形態をとりました。介護支援専門員同士の交流の機会にもなったと考えます。活発な意見交換がされ、会員である皆様の熱心さにより、有意義な研修となりました。

引続き、大田区のケアマネジャーと共にある連絡会として、ニーズに応える研修を企画していきたいと思えます。

I.大田区研修（大田区委託事業）

第1回 大田区介護支援専門員全体研修（オンライン開催） 令和6年6月18日	
参加者	370名
タイトル	令和6年度 介護報酬改定を知る！～ケアマネが知っておくべき業務のポイント～
内容	ケアマネジャーが押さえておくべき、令和6年度介護報酬改定のポイントを確認することで、適切なケアマネジメントを行えることを目的とする。また、「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」について理解を深め、大田区の現状や求められる役割を知る。
講師	「おおた高齢者施策推進プランについて」 講師：大田区介護保険課計画担当係長 大河原 梓 氏 「令和6年度介護報酬改定を知る！～ケアマネが知っておくべき業務のポイント～」 講師：江戸川区ケアマネジャー協会 監事 栗岡 清英 氏

第2回 大田区介護支援専門員全体研修（オンライン開催） 令和6年9月20日	
参加者	285名
タイトル	精神疾患の対応について～家族対応に困っていませんか～
内容	ケアマネジャーが業務を行う際、精神疾患のある利用者や家族への対応は負担が大きく、業務遂行に苦慮することが多い。精神疾患への理解を深め、対応力を向上させることにより、円滑な業務遂行に繋げると共にケアマネジャーのメンタルヘルスケアに寄与することを目的とする。
講師	講師：南晴病院 院長 木内 健二郎 医師

第3回 大田区介護支援専門員全体研修（オンライン開催） 令和6年12月12日	
参加者	265名
タイトル	複合的なニーズへの支援～重層的支援・多機関連携～
内容	介護支援専門員が要介護・支援者を援助するにあたり、複合的な課題を抱える現状へ関係機関と連携し、チーム支援として取り組む「重層的支援体制整備事業」、「多機関連携」の仕組みを知り、複雑多様化している課題への対応について学ぶ。
講師	講師：大田区福祉管理課/菊地係長 事例説明：大田区地域福祉課 多機関連携調整担当 大森/佐藤係長 調布/津村係長 蒲田/富田係長 糀谷羽田/小川係長

第4回 大田区介護支援専門員全体研修（オンライン開催） 令和7年2月18日	
参加者	162名
タイトル	ケアプラン点検総括研修 生活への意欲を導き出そう！～リ・アセスメントシートの活用～
内容	2024年度ケアプラン点検の振り返り。リ・アセスメントシートの構造について、事例を通し、利用者の楽しみのある生活を支援するため、利用者や家族から生活意欲を引き出し、ケアプラン作成に活かしていくことを学ぶ。

講師	<p>「2024 年度ケアプラン点検実施概要」</p> <p>概要説明：運営委員 石田千尋氏</p> <p>「利用者も母親も介護支援専門員もみんなが困っている孤立・孤独の中にある事例～弱さを強さに変えていくために、一つでもできることを見つけ・行い、自信を持つことにより少しずつ強くなるための支援～」</p> <p>講師：NPO 法人 ミシガンネット</p> <p>高齢者を支える学際的チームアプローチ推進ネットワーク 理事 日本福祉社会研究所 所長 社会福祉学博士 佐藤 信人氏</p> <p>事例発表：運営委員 金井のり子氏</p>
----	---

II.連絡会研修

第1回 NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会研修 令和6年7月18日	
参加者	76名 牧田総合病院 A棟1階 くすのきホール
タイトル	みんなで作ろう！！ 生活意欲に基づくケアプラン2表づくり
内容	講義グループワークによる「ケアプラン2表」作成。事例をもとに、リ・アセスメント支援シートを活用して2表をつくることを学ぶ。
講師	NPO 法人 ミシガンネット 高齢者を支える学際的チームアプローチ推進ネットワーク 理事 日本福祉社会研究所 所長 社会福祉学博士 佐藤 信人氏

第2回 NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会研修 令和6年8月21日	
参加者	29名 消費者センター 大会議室
タイトル	特定事業所懇談会
内容	主任介護支援専門員・管理者に限らず、特定事業所で働く介護支援専門員で、フリーワークを行った。カスタマーハラスメント、BCP について等、各グループで活発な意見交換が行われ、「共通の悩みを抱えていることがわかりました」「また懇談会に参加したい」といった感想をいただいた。

第3回 NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会研修 令和6年10月11日	
参加者	40名 牧田総合病院 A棟1階 くすのきホール
タイトル	第2弾！ みんなで作ろう！！ 生活意欲に基づくケアプラン2表づくり
内容	7月18日研修が好評にて、同内容にて2回目の研修を実施。 講義グループワークによる「ケアプラン2表」作成。事例をもとに、リ・アセスメント支援シートを活用して2表をつくることを学ぶ。
講師	NPO 法人 ミシガンネット 高齢者を支える学際的チームアプローチ推進ネットワーク 理事 日本福祉社会研究所 所長 社会福祉学博士 佐藤 信人氏

第 4 回 NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会研修 タウンミーティング 令和 7 年 1 月 31 日	
参加者	合計 57 名 スマイル大森 多目的室大
タイトル	タウンミーティング 介護保険外サービスについて考えませんか
内容	ケアマネのシャドーワークが依然あることから、インフォーマルサービスについてとする。大田社協の「ほほえみごはん」、有志の「ペット預かり」など、様々な情報を、地域ごとで情報共有し、ケアプランへの活用や、ケアマネジャー自身が社会資源の創設に係るなど、幅広く学ぶ機会とする。
講師	大田区社会福祉協議会 おおた地域共生ボランティアセンター 地域共生係長 武藤溪一氏、ボランティア担当 後藤恵美子氏

第 1 回 大田区 3 連絡会合同勉強会 (NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会・大田区訪問看護ステーション連絡会・大田区訪問介護事業者連絡会) 令和 6 年 11 月 21 日	
参加者	参加者 CM19 名、ヘルプ 12 名、訪看 7 名 計 38 名。 池上会館第一会議室
タイトル	医行為について考えよう ～薬の扱い方について～
内容	介護支援における医療行為等に関して、各専門職種がコンプライアンスを遵守しながら情報共有し、統一した支援が出来るよう勉強会を通じて交流を深めていくことが目的。薬剤師にて、医行為である「在宅での麻薬や観察の必要な薬の扱い方について」を講義。その後、グループワークにて、多職種で薬をどのように連携して扱うかを意見交換した。
講師	東京都薬剤師会副会長 市川薬局 小野 稔氏

○ ケアプラン点検作業部会 報告・石井 (大田区委託事業)

東京都保健福祉局発行「保険者と介護支援専門員が共に行うケアマネジメントの質の向上ガイドライン」を基に、大田区からの委託事業としてケアプラン点検を実施しました。テーマは「自立支援を目的とした職種と連携している事例」として今年度から 3 年間で区内全事業所を対象に実施が予定されています。今年度は前期・後期合わせて 53 件を点検しました。また 12 月 13 日の「グループ討議型ケアプラン点検」では事例提出者に参加していただき、昨年と同様の形式で開催いたしました。

介護支援専門員の「気づき」の促しや自立支援に資するケアマネジメントを目的に行うケアプラン点検を理解していただく為にも、今年度は事例提出、ファシリテーター募集ともに、主任介護支援専門員に限らず介護支援専門員皆様に参加していただきました。

○ ケアマネ相談室 報告・石田 (大田区委託事業)

ケアマネジャーが元気になるためのお悩み相談・ご意見・ご質問をお聞きする「ケアマネ相談室」を毎月第 3 木曜日の 13～17 時に開室しています。ふれあいはすぬま(大田区西蒲田 3-19-1)内の連絡会事務所で予約制の面談方式で相談を賜っていますが、コロナ禍以降電話やメール、ZOOM など門戸を広げて相談を承っています。日時につきましても柔軟に対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。本年度も様々なご相談が寄せられましたが、時代背景もあるのかハラスメントの内容が多かったように

思います。2025 年度より東京都では他都道府県に先駆けてカスハラ防止条例が施行となります。業務内容的にもケアマネジャーはカスハラに遭いやすい職種だと思います。ケアマネ相談室ではハラスメントの相談も受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

○ 地域活動部会 報告・所

蒲田駅前図書館と共催にて、毎月第 2 日曜日に「蒲田駅前図書館日曜介護相談室」を開催しております。介護に心配のある高齢者やご家族を対象に、大田区に限定せずに図書館をご利用の方で介護に不安のある方にはケアマネジャーが無料で介護相談を行っております。2024 年度は介護相談の「予約」を図書館に申し込まれた方もいっしょに、少しずつ周知されてきております。相談内容は基本的な事柄ですが「誰に聞いたらいいか、わからない。こんなことを聞いていいのか、不安」といった内容が多く見受けられます。会員のみなさまには、ボランティアとして介護相談に参加していただき大変助かっております。今年度も募集しておりますので、みなさまご協力の程、よろしく願いいたします。

一年に一度、大田区の各介護事業所連絡会や介護関係者が関わる「おおた福祉フェス」に実行委員として企画参加また当日ボランティアスタッフとして参加しております。区民に向けた介護業界の紹介と啓蒙活動、また介護業界の就職について、子育て世代やお子様達、介護保険に興味があるが携わっていない方、親の介護を終えられた方、ご高齢の方など幅広く区民に分かりやすく伝える催しです。

2024 年度は、参集型のリアル開催を行ないました。参加企業の就職ブースや各連絡会・団体ブースにご協力を仰ぎ、「クイズラリー」として会場全体を使ったイベント開催をしました。また、次世代機器として「搭乗して操作できるロボットイベント」も実施し、主に小さいお子様に大人気なイベントとなりました。ケアマネ連絡会では「介護相談」ブースも行われ、当連絡会の運営委員をはじめ会員ボランティアの方が相談に乗るスタイルで行なわれました。

また、2024 年度は当日ボランティアの募集だけではなく「実行委員として一年間参画」するボランティアも募集し、福祉フェス実行委員として参画していただきました。

東京都介護支援専門員研究協議会（CMAT）に大田区のケアマネジャー職能団体として参加しております。重層的支援体制整備事業についてや認定調査や審査会の遅延、俗にいう 1 人ケアマネや少人数居宅事業所の閉鎖について、ケアマネジャー同士の連携方法についてなど大田区のみならず他保険者の取り組みや他団体の取り組みなども含めて、話し合いを行なっております。

地域活動部会では今後も新しい「地域活動」の形を検討し続けます。みなさまも「楽しいと感じられる」・「やりがいのある」地域活動を一緒に考えましょう。

○ 広報部会 報告・石田

広報部会は NPO 法人大田区介護支援連絡会の理念・方針を発信する役割があります。けあまね通信での活動報告や、ホームページや Facebook を活用し会員相互の資質向上を図れるように、大田区の介護支援専門員の後方支援を行っております。連絡会公式 LINE アカウントには既に 300 名以上の方にご登録いただいております。皆さまの業務に役立つ情報や研修のリマインダー機能として活用しております。まだ未登録の方はぜひ友だち登録をお願いします。

広報部会では会員の皆様からのご意見を募集しています。より良い活動や皆様の後方支援に役立てたいと思いますので、広報部会に是非ご意見をお寄せください。

今後も当部会では連絡会の在り方、考え方を発信していきたいと思ひます。

○ 災害対策部会 報告・浜

現在、災害対策部会は休止中としていますが、以下の理由で再開をしていくべきと考えています。大田区から委託を受けている個別避難計画書作成の個々のケアマネジャーの負担などがあることは認識しており、より良い個別避難計画のありかたについて、ケアマネジャーの負担について確認していくこと。大田区から仮称 DWAT として災害時の連携についての打診があり検討する必要があります。

2024年度 活動計算書(決算報告(案))

NPO法人大田区介護支援専門員連絡会

2024年4月1日~2025年3月31日(単位:円)

I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費		910,000
賛助会員受取会費		
賛助団体受取会費		
2. 事業委託費		3,188,592
3. 事業収益		
研修収益		0
4. その他		
受取利息		93
雑収益		
経常収益 合計		4,098,685
II 経常費用		
1. 事業費		
業務委託費(事業)		2,333,172
諸謝金		199,821
印刷製本費		3,250
旅費交通費		157,302
通信運搬費		666,805
消耗品費		26,765
水道光熱費		35,039
会場費		37,560
諸会費		35,000
支払手数料		31,515
事業費 合計		3,526,229
2. 管理費		
業務委託費(管理)		412,500
通信運搬費		36,724
会場費		20,500
租税公課		480
支払手数料		51,694
管理諸費		147,171
管理費 合計		669,069
事業費・管理費 合計		4,195,298
III 当期正味財産増減額		△ 96,613
IV 前期繰越正味財産額		928,917
V 次期繰越正味財産額		832,304

会計監査報告

特定非営利活動法人 大田区介護支援専門員連絡会
理事 濱洋子 殿

特定非営利活動法人 大田区介護支援専門員連絡会 の2024年4月1日から
2025年3月31日 会計について2025年4月16日ふれあいはずぬま及び郵便郵
送により会計帳簿、銀行預金、その他証拠書類を対照して、監査しました。

その結果、内容等について正確であることを確認しましたので、報告します。

以上

2025年4月16日

監事 阿部 晃久



監事 片山 敬一



2025 年度 役員・運営委員

役職ごとにあいうえお順で掲載				
1	理事	副理事長	石田 千尋	介護老人保健施設大森平和の里
2	理事	副理事長	北原 健司	ケアプランゆうが
3	理事	理事長	浜 洋子	ケアステーション らっこ
4	監事		阿部 晃久	
5	監事		片山 敬一	特別養護老人ホーム板橋の里 英智園
6	運営委員		相田 有紀	リアンレーヴ大森
7	運営委員	事務局	石井 千秋	ベストパートナー
8	運営委員	事務局	大類 信裕	地域包括支援センター千束
9	運営委員		金井のり子	さいとう接骨院ケアプランセンター
10	運営委員		後藤恵美子	大田区社会福祉協議会
11	運営委員		小西 良介	居宅介護支援事業所 ナスリ
12	運営委員		相楽 裕	アーネストケア
13	運営委員		高木 健	地域包括支援センター新井宿
14	運営委員		瀧 良一	ハート
15	運営委員		田中 弘子	(株)カラーズ
16	運営委員	事務局	土井 栄美	地域包括支援センター上池台
17	運営委員	事務局	所 孝	ケアステーション らっこ
18	運営委員		中曽根千広	地域包括支援センターやぐち
19	運営委員		中根久美子	ケアプラン田園調布医師会
20	運営委員		三浦 大輔	蒲田医師会
21	運営委員		矢嶋 利成	大田区立特別養護老人ホームたまがわ
22	運営委員		脇 昌之	スマイルライフケア
事務局職員 八久保宜美 (株)スリービーンズ 会計 片桐 眞美 片桐税務会計事務所				

4) 2025 年度事業計画 (案)

はじめに

わたしたち連絡会は 2018 年度から大田区福祉部介護保険課より委託事業を受け、ふれあいはすぬまを大田区よりお借りして活動を続けてきました。この間、委託を受けたのは続く 3 事業です。

- ① ケアプラン点検－区内 180 居宅介護支援事業所を前後期に分けてケアプラン点検を実施。地域の同じ専門職である主任介護支援専門員だからこそ、地域の介護支援専門員を後方支援し、この点検を通して区民の豊かな暮らしを支えるためのお手伝いが出来たと考えています。
- ② 区ケアマネジャー全体研修－現場の介護支援専門員に役立つ研修を企画してきました。それまでの全体研修に比しても参加人数、研修後アンケートともにその充実ぶりが反映しました。
- ③ ケアマネ相談室－事業所の中だけではなかなか聞けない悩み、事業所の運営者との軋轢、働く環境の課題など、地域で仕事をする私たちの仲間が抱える問題をお聴き取りしてきました。

これらの事業は、大田区＝保険者にとって今後の地域包括ケアシステムの進化・深化にも役立つ、介護保険事業に役立つ情報を得ることが出来る大切な要素であり、連絡会としては毎年の期首懇談会で、ぜひこの得られた情報を区に活かしてもらえるよう働きかけてきました。

一方で、年々深まる人材不足、処遇改善の進まなさによって、介護支援専門員の働く環境は良い兆しを見ることなく、利用者からのカスタマーハラスメントやひとり暮らし率の上昇により、連絡会に所属する介護支援専門員にとっても実務負担が大きくなっています。

以上の事から、大田区より委託を受けてきた事業をフルタイムで従事する介護支援専門員がボランティアに近い実働費で継続することは困難であるという結論に達しました。

そのため、作業負担となってきました NPO 法人格を返上し、連絡会がこれまで続けてきた独自事業の継続を行う任意団体として活動を続けていく事としました。

今後ともこれまでと同じように地域で仕事をする介護支援専門員の力になり、共に地域を支え合う仲間として存在していることを会員の皆様に感じていただける活動を少しずつ、でもしっかりと続けてまいりたいと思います。

基本方針

- 1 会員の日々の業務を支援できる研修、情報の発信を行っていきます。
- 2 組織運営の発信力、及び協働性を高めます。
- 3 各種研修の充実、連動をはかり、会員のスキルアップの為の環境づくりを支援します。
- 4 各種団体との関係性の維持強化を図り、介護支援専門員の存在意義を発信していきます。

これまでの基本方針と変わりありません。

具体的活動内容

- 1 会員数を上げることは、連絡会活動に賛同いただける方を増やすことと考えながら、具体的活動を組み立てていきます。
- 2 定期研修会、懇談会、タウンミーティング（小地域研修会）等の独自研修の開催が出来るよう努力します。

- 3 「駅前図書館日曜介護相談室」開設が継続できるよう、介護支援専門員としてそのほかの地域活動を通して高齢者を支える地域づくりに対する貢献活動を行います。
- 4 介護支援専門員業務やリレーションシップの相談先となる連絡会となるよう介護支援専門員の後方支援を行います。

活動計画

- 1 総会開催 年1回5月に開催します。本会の運営に関する重要な事項の決議の場となります。
 - 2 定期研修会の開催 会員対象の定期研修会、及び懇談会を下記の項目の中から複数回開催します。
 - ・ タウンミーティング (基本圏域ごとに分けた小地域研修会)
 - ・ 新人介護支援専門員対象
 - ・ 特定事業所対象
 - ・ 主任介護支援専門員対象
 - ・ 施設介護支援専門員対象
 - ・ その他義務化された委員会の開催や研修に困難を抱えた事業所支援を検討します。
 - 3 区民向け介護イベントの実施 (おおた福祉フェスの実施)
「おおた福祉フェス 2025」を開催する予定となっています (区共催)。区内介護保険事業職能団体との協働実施として行います。
 - 4 「駅前図書館日曜介護相談室」の継続
毎月第2日曜日午後1時~4時、大田区立蒲田駅前図書館にて定期開催致します。図書館のネットワークを通じた高齢者を支える地域づくりへの貢献を図ります。また本事業に関しましては窓口相談員を募集しています。※添付資料参照
 - 5 区内各種会合、区主催の検討委員会への参加
大田区地域福祉計画推進会議、大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議、大田区包括支援センター協議会、大田区在宅医療連携推進協議会、大田区難病対策地域協議会、大田区地域密着型サービス検討会、大田区社会福祉協議会「評議員選任・解任委員会」、…等、区南部地域リハビリテーション支援センター事業、梅ちゃんカフェ、おおた区民活動団体連絡会等、多岐にわたる区内会議に委員として参加し、会員に向けたより有機的な情報の発信をしていきます。
 - 6 会員向け広報紙の発行 (けあまね通信発行等年間複数回)、及びホームページの充実、ラインの情報発信(300名を超える登録をいただき、毎月複数回の頻度で発信を続けています)。会の運営状況や介護保険関係最新情報等の発信の場として活用します。
 - 7 地域活動の支援
区内各種地域事業への貢献活動として、会員の参加を支援します。具体的には以下の事業に関して運営委員等として参画頂いた場合、地域活動証明書を発行します。
 - ・ おおた福祉フェス 2025
 - ・ 駅前図書館日曜介護相談室 等上記地域活動の支援は研修等受講証明書と併せ、主任介護支援専門員研修受講の応募の際に活用できます。不明な点は本会役員までご質問下さい。
- 上記の活動のため各部会を設置。(組織図参照) 各部に部会長を設置し、活動計画を遂行いたします。

8 理事運営委員会、事務局運営等の開催

理事会を隔月 1 回、運営委員会、及び事務局運営会議等を毎月 1 回開催致します。運営状況の確認、及び事業企画等に関する検討をします。また上記の他、部門や担当ごとに分かれた会議の開催も適宜行います。また新規事業企画室を設け、会員制度の検討や会員としてのメリットを考え、一人事業所への支援等も検討していきます。運営委員に 1 年間参加された会員に地域活動証明書を発行します。

9 区内外職能団体等への活動参加

大田区介護保険サービス団体連絡会をはじめ、各職能団体等の活動に積極的に関わり、情報交換、運営支援等を行います。また区外団体である NPO 法人東京都介護支援専門員研究協議会 (CMAT) 等の活動に携わり、都外団体視察研修等も含めた広域な活動を行います。

10 大田区との連携

区との緊密な連携を基に、職能団体としての意見を伝えていきます。

- ・ 本会役員等と区福祉部との公式懇談会の実施を毎年期首に実施しています。現在置かれている課題を中心に、多岐にわたる意見交換となります。ご意見をお寄せください。
- ・ 区介護認定審査会委員に会員を選出します。
- ・ その他、会議や検討会への出席を適宜担います。

11 新規事業企画室

新規事業の立ち上げについて検討を続けてきました。ボランティアな理事、事務局、運営委員で構成されている私たちの連絡会という組織が継続していくためには、会費をいただいた会員の管理などの作業に一定の手当を付けた人員の確保が必要となります。現在事務局の非常勤職員の努力により会員証の発行等会員管理がきちんに行え、会計士と共に会計の正確性が保たれていますが、今後の委託事業のない状態でその継続をどのように行うのか検討していきます。

地域では小さな事業所の運営が難しい状況となっています。このような状況の中、未加入事業所への入会の働きかけ、賛助会員を増やす仕組みづくりを行いながら会費収入を上げる道を検討しています。また、上記の各居宅介護支援事業所の事務作業を軽減し、義務化された委員会や研修についての事業所間の調整等出来ることを検討し、会員としてのメリットを上げていくことともに考えていきます。そのために組織図に新規事業企画室を設置しています。こちらもボランティアに運営委員が参加し活動を行っていきます。

12 令和 8 (2026) 年度 NPO 法人を終了し、任意団体と戻るための作業を行います。任意団体となることはこれまでの定款を簡易な会則に変更する、そのための理事・運営委員の組織編成の変更、法人格の認証返還などの作業を現在の理事会が担います。

NPO法人大田区介護支援専門員連絡会

活動計算書(予算)

令和7(2025)年4月1日～令和8(2026)年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
正会員受取会費		910,000	
受取助成金		3,188,592	
受取利息		93	
経常収益計			4,098,685
II 経常費用			
1. 事業費			
業務委託費(事業)	2,333,000		
諸謝金	180,000		
印刷製本費	3,000		
旅費交通費	100,000		
通信運搬費(事業)	666,000		
消耗品費	23,000		
水道光熱費	30,000		
会場費	30,000		
諸会費	30,000		
支払手数料(事業)	30,000		
事業費計		3,425,000	
2. 管理費			
業務委託費(管理)	412,000		
通信運搬費(管理)	30,000		
会場費(管理)	20,000		
租税公課(管理)	480		
支払手数料(管理)	51,000		
管理諸費	147,000		
管理費計	660,480		
管理費計		660,480	
経常費用計			4,085,480
当期正味財産増減額			13,205
前期繰越正味財産額			860,122
次期繰越正味財産額			873,327